

Abundant. Natural. Pure. Proud of Our Onsen Excellence.
泉質主義 onsen ISM KUSATSU

湯量も効能もまさに名湯!

草津温泉

納得の「泉質主義」

観光経済新聞社主催による「第23回にっぽんの温泉100選」において、草津温泉が7年連続で第1位に選ばれました。
 草津温泉は「泉質主義」を掲げています。温泉に対する熱いこだわりを持っています。「温泉から学び、温泉を大切に、温泉と生きてゆこう」。ちょっとオーバーですがそんな気持ちで日本中の温泉ファンをもっともっとあたたかくおもてなししたい、と考えています。

草津温泉観光協会

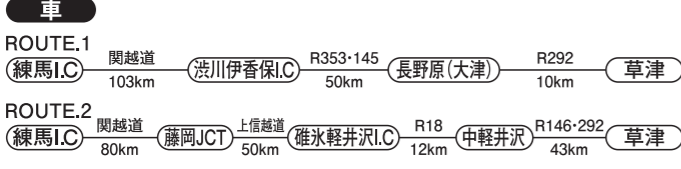
〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町3-9

☎0279-88-0800

URL <http://www.kusatsu-onsen.ne.jp>

草津へのアクセス

●東京方面から



●大阪・名古屋方面から



群馬デスティネーションキャンペーン 2011.7/1▶9/30



第23回「にっぽんの温泉100選」第1位



宿泊旅行業・運輸自治体(観光全般)

第2部

<http://www.kankokeizai.com/>

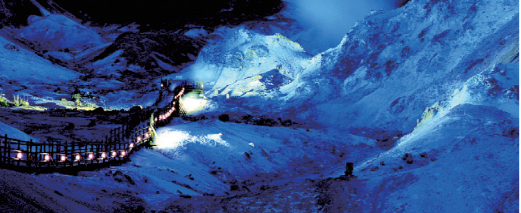
ツアーエキスパート
 旅フェア
 配付特集号
 2010 2010

本紙では、毎年の最終号で「にっぽんの温泉100選」「人気温泉旅館ホテル250選」を発表しています。全国の大手、中堅の優良旅行会社などによる投票の結果によるもので、特に人気温泉旅館ホテル250選中、通算5回以上の入選施設は「5つ星の宿」に認定されています。来場者の皆様に昨年の結果と最新の旅行情報を提供いたします。

泊まってわかる! 北の湯之国・登別温泉



2010年まつり・イベント
 鬼火が誘う地獄の谷



期間 2010年6月1日~11月30日まで
 フットライト点灯時間 午後7時30分~10時まで
 会場 地獄谷入口・地獄谷展望台・地獄谷遊歩道



期間 2010年6月1日~8月13日までの毎週木・金曜日
 6月1日はオープニング特別開催
 時間 午後8時30分
 会場 地獄谷展望台付近
 ※悪天候等、中止の場合あり



期間 2010年8月28日(土)29日(日)の2日間
 会場 登別温泉極楽通り



期間 2011年2月3日(水)4日(木)の2日間
 会場 登別温泉泉源公園

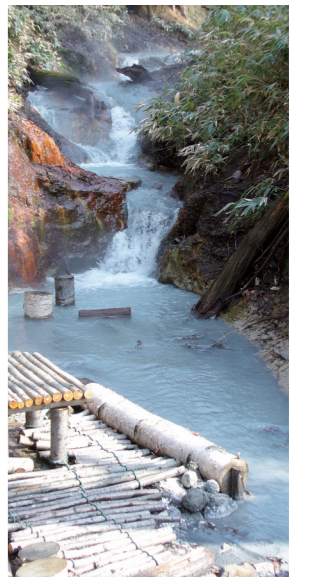


- 市外局番(0143)
- 第一涌本館 ☎84-3322
 - ホテルまほろば ☎84-2211
 - 登別石水亭 ☎84-2255
 - 祝いの宿登別グランドホテル ☎84-2101
 - 登別万世閣 ☎84-3500
 - 望楼NOGUCHI登別 ☎84-3939
 - 名湯の宿パークホテル雅亭 ☎84-2335
 - ホテルゆもと登別 ☎84-2277
 - 旅亭花ゆら ☎84-2322
 - 御やど清水屋 ☎84-2145
 - 登別温泉郷滝乃家 ☎84-2222
 - 滝本イン ☎84-2205
 - 玉乃湯 ☎84-3333
 - 花鐘亭はなや ☎84-2521

さらに大正4(1915)年には、現在のJR登別駅から温泉までの8キロの区間に、軌道馬車の鉄道を敷設されたのを皮切りに、3年後には蒸気機関車が、10年後には発電所が建設され電車が走るにまで至りました。こうして着々と今日の登別温泉街の基盤ができていき、歩みを進めようとしてきたと旅館やみやげ店が立ち並びはじまりました。時代と共に町並みや施設はその姿を変えてはいるものの、豊富な湯量と豊かな泉質は150年の時を経て変わらぬものがあります。古より伝説の湯と語り継がれてきた頃のまま、現在も、訪れる人々の心と身体を癒し続けているのです。



松浦武四郎が登別温泉に初めて足跡を留めたのは、弘化2(1845)年のことでした。それから15年後の万延元(1860)年には、箱館奉行所において、南部藩箱館留守居であった上山半右衛門が、11種から成る書類をわたされています。そのうちのひとつであった演説書の中に、「前略」登別山中に温泉があるので、去る安政5(1858)年新道を開き、止宿所を建てた。旅人ならびに蝦夷人たちが自由に湯治をしている」と、温泉の所在と役割が特筆されているのを目にしています。この止宿所は板葺板目造り、広さ十坪ほどのものだったようで、これをきつかけ、利用者の気配りが整い、湯治場と呼ばれるようになった、といったのです。その後、明治38(1905)年に日露戦争傷病兵の保養地に指定されてから、各地から数多くの湯治客が訪れるようになり、現在に至ります。



登別温泉の歴史

極楽通り

温泉街を浴衣姿で歩くのは、温泉旅行の大きな楽しみのひとつです。登別温泉街のメインストリートは「極楽通り」の愛称で親しまれており、通りに面して商店みやげ店、飲食店が軒を並べています。みやげ店には登別温泉産品が数多く取り揃えられており、お土産のぞいて歩くだけで楽しい品が見つけられるかもしれません。飲食店も多く、ラーメン店やレストランなど、居酒屋やレストランなど、いろいろな店があり、夜はスナックやバーが観光客で賑わっています。



泉源公園



江戸時代の街並を時代考証に基づき忠実に再現。94棟の本造建築物が立ち並び、忍者の大死闘をハイビジョンで楽しめる大忍者映像館や、妖怪が勢揃いする妖怪びっくり小屋、お大尽遊びを再現した日本伝統文化劇場などアトラクションが一杯です。



北欧のロマンチックな街並を再現。最大の見所は海洋美術館ニクス城で、内部が水族館になっており、頭上をサケやサメなどの魚群が回遊し、幻想的な海の世界が広がります。イルカやアシカのショーや、ペンギンのパレードも大人気です。



登別温泉からロープウェイで登った山頂にあります。現在は100頭以上のエゾヒクマを飼育しており、第一牧場と第二牧場からなり、雄・雌別々に集団で生活しています。また、世界でもめずらしいヒクマ博物館やアイヌ民族の生活様式を再現したユーカーラの里などもあります。

社団法人 059-0551

登別観光協会

北海道登別市登別温泉町60番地
 TEL(0143)84-3311
<http://nobaribetsuspa.dip.jp/nobo/>